



2018年10月24日

各 位

会 社 名 日本ユピカ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 山根 祥弘
 (JASDAQ・コード7891)
 問合せ先 役職 取締役管理部長
 氏名 三浦 弘之
 電話 03-6850-0261

2019年3月期 第2四半期業績予想と実績との差異及び

通期業績予想の修正に関するお知らせ

2018年5月7日に公表いたしました2019年3月期第2四半期(2018年4月1日~2018年9月30日)の業績予想と、本日公表の実績における差異、及び通期(2018年4月1日~2019年3月31日)業績予想の修正につきましてお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期 第2四半期累計期間(2018年4月1日~2018年9月30日)における、予想数値と実績との差異

(1) 個別

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想(A)	4,850	140	95	34.58
実績値(B)	4,721	57	40	14.56
増減額(B-A)	△129	△83	△55	—
増 減 率	△2.66%	△59.29%	△57.89%	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	4,882	236	164	59.83

(2) 連結

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想(A)	5,650	115	120	85	30.94
実績値(B)	5,787	60	53	31	11.50
増減額(B-A)	137	△55	△67	△54	—
増 減 率	2.42%	△47.83%	△55.83%	△63.53%	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	5,511	199	206	154	56.25

(3) 差異理由

個別業績におきましては、販売数量は当初の予想を下回り、また販売価格改定の遅れに加え、さらなる原燃料価格の高騰により、売上高、利益ともに減少となりました。連結業績では、中国子会社においては売上高、利益ともに当初の予想を上回りましたが、個別業績の減少により連結での利益は減少となりました。

2. 2019年3月期 通期（2018年4月1日～2019年3月31日）における、業績予想の修正

(1) 個別

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	9,800	400	280	101.91
今回修正 (B)	9,700	200	140	50.96
増減額 (B-A)	△100	△200	△140	—
増減率	△1.02%	△50.00%	△50.00%	—
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	9,927	630	443	161.60

(2) 連結

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	11,750	450	450	300	109.19
今回修正 (B)	11,900	225	200	140	50.96
増減額 (B-A)	150	△225	△250	△160	—
増減率	1.28%	△50.00%	△55.56%	△53.33%	—
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	11,602	591	589	425	155.02

(3) 修正の理由

通期業績予想につきましては、個別業績では上期の減少分に加え、下期においても原燃料価格の高騰が見込まれ、利益は当初の予想を下回る見込みとしております。連結業績では、中国子会社では売上高は増加となるものの、国内同様原燃料価格の高騰が見込まれ、利益は当初の予想を下回る見込みとしております。

以上

* 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。